



対馬市は、令和2年7月に国の「SDGs未来都市」に選定され、経済・社会・環境という三つの側面を統合し、誰一人取り残さない「安心・安全に暮らし続けられる島（しま）づくり」を目指しています。

参考URL	<a href="https://www.city.tsushima.nagasaki.jp/gyousei/soshiki/miraikankyobu/sdgs/sdgs/2936.html">https://www.city.tsushima.nagasaki.jp/gyousei/soshiki/miraikankyobu/sdgs/sdgs/2936.html</a>
-------	---

### 数字で見る対馬の「SDGs」

日本一海ごみの流れ着く島 あ  
年間  
約 **3万～4万** t (推計)

回収量・回収費用  
約 **7,000～8,000** m<sup>3</sup>  
約 **2億** 円 (R7年度)

環境スタディツアー受入数  
**64** 団体  
**2,410** 名

SDGs推進に関する あ  
企業・団体等との連携協定  
**8** 社 (R8.3.17現在)

プロジェクトに賛同・参画、支援・応援  
パートナー  
**74** 社  
サポーター  
**28** 名  
(R8.3.17現在)

### 「SDGs」、見どころをご紹介

**海ごみなど、島ならではの環境課題への対応**

日本一海ごみが流れつく島として、水産資源や生態系、漁業活動に影響を及ぼす海ごみの発生抑制のための啓発活動や、対馬での取組の情報発信、漂着した海ごみの効率的効果的な回収や再資源化の方法を研究しています。

**対馬モデルの確立**

**経済** (サーキュラーエコノミー)、  
**社会** (地域共生、高齢化、少子化、島の暮らし)、  
**環境** (特に海洋プラスチックごみ) という3つの側面を同時に解決・促進する対馬モデルの確立を目指しています。

### 教育・人材育成分野での“域学連携” (地域×大学) を活用した人づくり

「域学連携」を通じて地域づくりと人材育成を推進しています。島全体をフィールドキャンパスとして位置づけ、大学・研究機関・地域住民・行政が協働する体制を整備し、グローバルな視野と行動力を持った人財を育てています。

### 市民・企業・団体を巻き込んだ「SDGsパートナーズ」などの参画・協働メカニズム

対馬市のSDGsパートナーズ制度は、企業・団体・個人がSDGsの取り組みを宣言し、市と一緒に持続可能な島づくりを進めるための登録制度で、取り組みの見える化とネットワークづくりを促す仕組みです。